

2020年度 学校教育方針

松戸市立新松戸西小学校

1 学校教育目標

「明るく生き生きと学ぶ学校」

～自ら伸びようとする子どもの育成～

(1) めざす児童像 「みんなが笑顔の新西小」

- 自ら学ぶ子
 - ・興味関心，意欲態度の向上
 - ・進んで読書ができる児童
- 共に生きる子
 - ・学校生活を友だちと協力する
 - ・友だちとの言葉のやりとり（会話）がしっかりできる
- たくましい子
 - ・進んで外で遊ぶ，自ら体をきたえる
 - ・発達段階に応じた「衛生安全習慣」の確立

(2) めざす学校像

- 安全と安心 「環境が整った学校」
 - ・登下校通学路ならびに校内の設備・施設の安全点検の徹底と早急な対応
 - ・教育相談，個別支援体制を整え，安心して通える学校
- 笑顔と元気 「活気のある学校」
 - ・返事や挨拶，学習における発言が積極的にできる児童の育成
 - ・学校生活において児童の笑顔と元気溢れる活動が見られる学校
- 学力と体力 「調和のとれた学校」
 - ・基礎基本の習得のみならず少し難しい問題に取り組む学習指導の展開
 - ・学力・体力の両輪の向上によるセルフエスティームの上昇
- 保護者と地域 「期待に応える学校」
 - ・保護者との連携を密にし，必要に応じた教育相談の実施
 - ・学校評価を元にしたマネジメントサイクルの確立

(3) めざす教師像

- 分析と発想 「創造力豊かな教師」
 - ・データ分析を元に既存の考え方にとらわれず、新しいアイデアを発想する
 - ・その時々場面状況に対応しつつ、常に先を見通して計画を立案できる
- 子どもと共に 「共感できる教師」
 - ・常に児童の目線に立ち、師弟同行、活動できる
 - ・日常の話や遊びを大切に、児童理解に努める
- 授業を大切に 「実践力のある教師」
 - ・一時間一時間の授業を大切に「わかった」「できた」「よかった」と実感させ、意欲を引き出す授業展開の創意工夫
 - ・経験値を有効に高める為に「日々是研修の精神」を忘れない
- 生き方を見せる 「信頼される教師」
 - ・相手に自分を理解してもらい、為すことによって学ぶ背中を見せる。
 - ・児童や保護者、同僚や先輩との会話や面談を通しての信頼関係の構築

2 経営の基本方針

学校教育は、新しい時代を担う心豊かなたくましい児童の育成を目指した生涯学習の基礎づくりを推進するという重要な役割を担っている。そのためには自分で人生を切り開いていく「生きる力」の育成が必要である。

特に、学校教育の根幹をなす学習活動において、児童が「先生から勉強を教えてもらった」ではなく、児童が学習した内容を用いて自らが進んで学習に取り組み「できた」と実感できる学習活動の充実、「できるからもっとやる」という意欲的な学習サイクルの推進、ができるように学級経営を進め、豊かな心、たくましい体づくりを含めた人間として生きる力の育成をめざし、保護者・地域に信頼される学校づくりに努める。

- (1) 学校教育の具現化に向け、教職員の協力・信頼のもと、一人一人の児童を大切に、創意と活力のある教育活動を展開する。
- (2) 基礎基本の定着と知識技能を活用する力の育成、少し難しい問題を解こうという学習意欲の向上や学習習慣の確立を図る。
- (3) 教育実践に伴う責任ある評価を実施し、保護者・地域へ教育活動に関しての説明に努め、開かれた学校づくりを推進する。

3 本年度の努力点

(1) 自ら学ぶ子『確かな学力を育てる』

- ① 発達段階に応じた学力の向上
- ② 意欲的な学び合いを重視した指導過程の工夫
- ③ プログラミング（論理的）的思考力を育てる授業づくり
- ④ 場に応じた個別支援の工夫

(2) 共に生きる子『豊かな心を育てる』

- ① 基本的生活習慣の確立
- ② 道徳教育の推進
- ③ 特別（個別）支援教育の推進
- ④ 教育相談の充実

(3) たくましい子『健やかな体を育てる』

- ① 運動習慣の確立，体力の向上
- ③ 心身の健康の保持増進
- ④ 食に関する指導の充実
- ⑤ 衛生管理と安全管理

4 家庭との共育を大切に

(1) 返事，挨拶など基本的な躰を重視する家庭

(2) 生活習慣や一日の生活のリズムを大切にする家庭

(3) 学校の様子や子ども自身が考えることを聞けるように常に会話を意識し，大切に考え，子どもの成長を温かく見守る家庭